

医療法人 新松田会 **愛宕病院**

体と心を健康に。
地域に元気を発信する広報誌。

あたご  Atago

〈特集〉

「未来の 医療がここに」 AIと見つめる安心の内視鏡検査

2025 秋号
11月発行

ご自由にお取りください

健康ワンポイント
看護師からのアドバイス
～秋冬を元気に乗り切ろう!～

各課・各部の紹介
施設課 美化係

活動報告

愛 LOVE クッキング
鮭のパン粉焼き

あたご INFO

〈特集〉

「未来の医療がここに」 AIと見つめる 安心の内視鏡検査

愛宕病院 消化器内科部長
羽柴 基



AIが内視鏡をサポート！ 全国で広がる新しい検査

「胃カメラ」「大腸カメラ」と聞くと、少し不安を感じる方も多いのではないでしょうか。内視鏡検査は、胃がんや大腸がんの早期発見に欠かせない大切な検査です。

近年は「がんは早期に発見すれば治せる病気」と言えるようになってきました。特に大腸ポリープは、放っておくとがんに進行する可能性があります。検査で見つけて切除すればがんを予防できます。ただし、どんなに経験豊富な医師でも、人間の目だけでは小さな病変や見つけにくいポリープを見逃してしまうことがあります。そこで登場したのが、AI(人工知能)によるサポートです。



当院で導入した「CADEYE(キャドアイ)」とは？

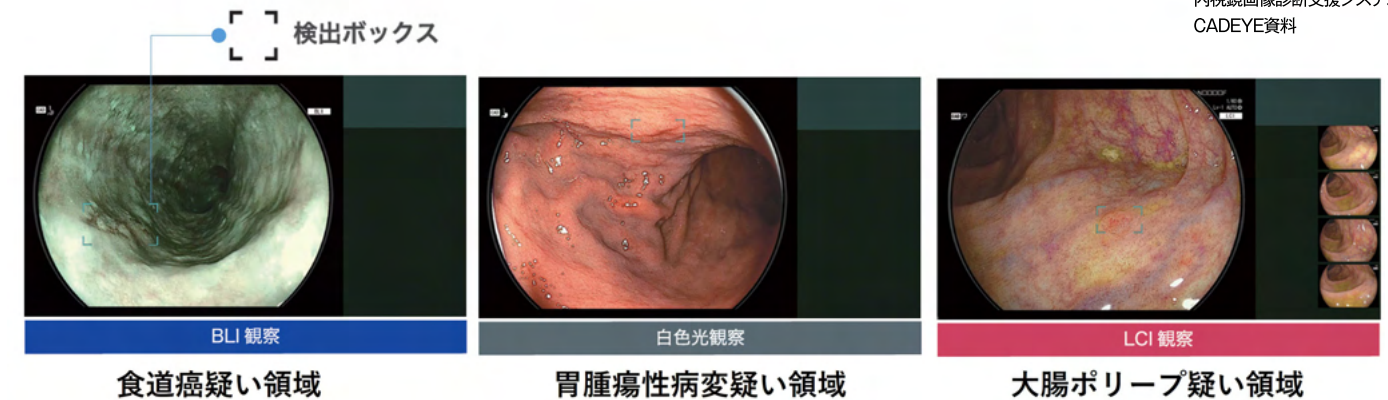
CADEYEは全国的にも導入が進んでおり、2025年4月末時点で全国に1,260台が設置されています。



出典:富士フイルム株式会社
内視鏡画像診断支援システム
CADEYE資料

図1 検出支援モード 病変が疑われる箇所を検出すると同時に、対象エリアを枠で囲い音で知らせてくれます。

出典:富士フイルム株式会社
内視鏡画像診断支援システム
CADEYE資料

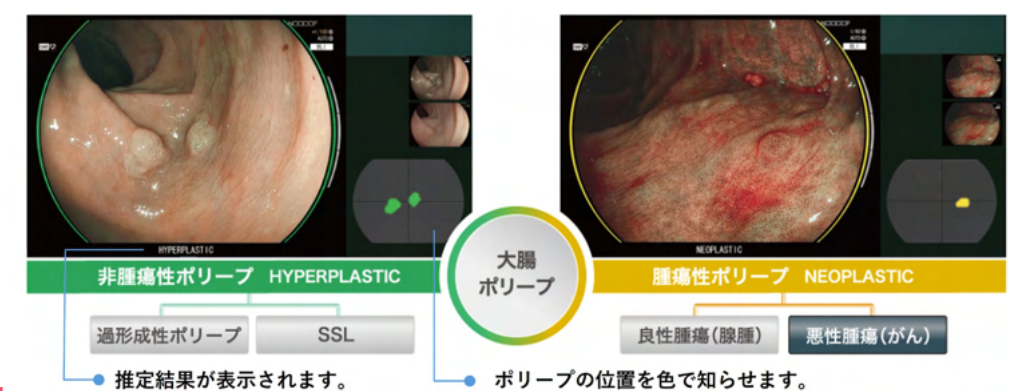


当院では2024年1月に、富士フイルム社製の内視鏡AIシステム「CADEYE(キャドアイ)」を設置しました。CADEYEは、内視鏡の映像をリアルタイムで解析し、怪しい部分を光や音で知らせてくれるシステムです(図1)。医師の“もう一つの目”となり、見逃しを減らしてくれるのが特長です。特に大腸のひだに隠れた小さなポリープや、平らで見逃しやすい病変の検出を強力にサポートします。

さらにCADEYEには「診断をサポートする機能」もあります(図2)。病変を観察するときに「腫瘍の可能性があるか」「良性のポリープか」を瞬時に判断してくれるため、より正確な検査を可能にします。もちろん最終的に判断するのは医師ですが、AIの助言は心強い味方です。

図2 鑑別支援モード

大腸ポリープが「非腫瘍(切除不要):緑色、または腫瘍(切除すべき):黄色」かを推定し、リアルタイムに表示します。



患者さんにとってのメリット

では、患者さんにとってどのような良いことがあるのでしょうか。

- 1.見落としを減らす 小さな病変や見つけにくいポリープを見逃さずに検知することで、検査の精度が向上します。
- 2.ダブルチェックの安心感 医師の経験と技術に加え、AIによるチェックが入ることで「ダブルチェック」の安心感があります。
- 3.早期発見から早期治療へ 病変を早く正確に見つけられることで、大きな手術を避け、内視鏡によるポリープ切除など身体への負担が少ない治療につながる可能性が高まります。

人とAIが力を合わせる時代

「AIが全部診断するの？」と心配される方もいるかもしれませんが、AIはあくまでサポート役です。最終的な判断は必ず医師が行います。医師の経験と知識にAIの力が加わることで、より正確で安全な検査が可能になるのです。「人とAIが力を合わせる」ことで、患者さんにとって最良の医療を届けられる時代が始まっています。



最後に

内視鏡にAIを取り入れることで、がんの早期発見率をさらに高め、地域の皆さんの安心につなげたいと考えています。当院では「CADEYE」を活用し、これからも最先端かつ質の高い医療を地域に届けられるよう努めてまいります。また、検査に対する不安をできるだけ和らげ、安心して検査を受けられるよう、鎮静剤を使用した検査にも積極的に取り組んでおります。がんは早期発見が何より大切です。定期的な内視鏡検査を受けていただくことで、安心した毎日につながります。どうぞお気軽にご相談ください。

看護師からのアドバイス

～秋冬を元気に乗り切ろう!～

看護部
中村 奈緒



健康
ワン
ポイント

Health
advice

カラダは自然環境とバランスを取りながら健康を保っています。秋冬は気温の変化によって自律神経が乱れることが原因で起こる「寒暖差疲労」、いわゆる秋バテ・冬バテを起こしやすくなります。特に、今年の夏は猛暑続きであったため気温差が大きく、自律神経の乱れが起こりやすい傾向が予測されます。また、秋・冬は空気の乾燥や気温の低さ、日照時間の短さ、免疫力の低下などから、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、ノロウイルス感染症など多くの感染症が流行する季節です。

秋バテ・冬バテの主な症状

- ☐ カラダがだるい ☐ 疲れがとれない ☐ やる気がでない ☐ 頭痛 ☐ めまい
- ☐ 食欲低下 ☐ 胃もたれ ☐ 不眠 ☐ 肩こり など

自律神経の乱れと免疫力低下の関係

自律神経が乱れバランスが崩れると、免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなったり、アレルギー症状が悪化したりするなど、さまざまな体調不良を引き起こし、それがまた自律神経の乱れを悪化させるという悪循環になることがあります。

秋冬を元気に乗り切るためには、感染症に打ち勝つカラダづくりが重要!

ポイント1 生活リズムを整える

早寝早起きを意識し、規則正しい生活リズムで体内時計を整えましょう。睡眠不足は免疫力低下につながるため、十分な睡眠時間(6～8時間)を確保しましょう。



ポイント2 バランスのよい食事と腸内環境への気遣い

さまざまな食品からバランスよく栄養素をとりましょう。特に、ビタミン(B群は疲労回復や冷え対策に重要)、ミネラル、タンパク質、食物繊維を意識してとりましょう。腸には全身の免疫細胞の約7割が集まっています。乳酸菌やビフィズス菌などの善玉菌を取り入れることで腸内環境を改善し、免疫力を高める効果が期待されます。

ポイント3 適度な運動

運動は免疫細胞(ナチュラルキラー細胞、T細胞、B細胞)の活性化を促進します。ウォーキングなどの有酸素運動により、免疫細胞が血液中に放出され、体内の異物を検知・排除する能力が高まります。逆に、過度な運動は一時的に免疫機能を低下させることが知られています。適度な運動と休息を習慣的に取り入れることが重要です。

ポイント4 ストレス緩和

過剰なストレスは免疫細胞の機能を低下させ、感染症にかかりやすくなったりします。しかし、ストレスを気にしすぎること、かえって健康に悪影響を与えることもあります。くよくよ考えすぎず、適度な運動と十分な睡眠でストレス緩和に努めましょう。

ポイント5 感染対策(手洗い、消毒、こまめな換気、マスクの着用)

流水・石鹸によるこまめな手洗いとアルコール消毒で、付着したウイルスを除去しましょう。空気の乾燥も感染を広げやすくなります。こまめに換気を行い、湿度にも注意しましょう。人混みや医療機関ではマスクを着用しましょう。

これらのポイントを習慣化し、続けていくことが大切です。

施設課 美化係

2010年に新たな部署として美化係が誕生し、15年が経ちました。現在、16名のスタッフが在籍しており、病院の環境整備に日々取り組んでいます。まだ職員や外来患者さんがほとんどいない早朝から業務を開始し、交代で病院の隅々まで清掃を行っています。病室や診察室、廊下やトイレはもちろん、手術室や検査室など特に高い清潔度が求められる場所も担当しています。定期的に行う床のワックスがけでは、滑りにくさや光沢のバランスに気を配りながら、丁寧に作業を進めます。ひと拭き、ひと磨きに心を込めて、気持ちよく過ごせる空間を整えています。患者さんやご家族にとって快適で安心できる空間を整えることはもちろん、感染症予防の観点からも清掃は欠かせない業務です。見えない部分での細やかな配慮が、病院全体の安全を守っています。



【主な業務内容】 日常清掃:病室・診察室・待合フロア・階段・トイレなど院内すべて、ごみ回収、外回り(駐車場・植栽を含む)
定期清掃:ワックスがけ
臨時清掃:感染症発生時の清掃・消毒など



美化係は、患者さんが安心して療養でき、医療スタッフが集中して働ける環境づくりを陰から支える大切な存在です。これからもチーム一丸となって、「清潔で温かみのある病院」を守り続けてまいります。

ワックスがけ手順

備品を移動 → 床洗浄(ポリッシャー使用) → 乾燥 → ワックス塗布 → 乾燥
ワックス塗布以降は繰り返し3回行います。



床洗浄



ワックス塗布

第1回 BCPトリアージ訓練

災害発生時を想定し、一次トリアージの訓練を行いました。
日本DMAT隊員でもある手術室 溝渕師長を講師に、トリアージの概念や目的、トリアージの方法などを学んだ後、実技訓練に移りました。



判定役と記載役の2人1組で、それぞれの設定に基づいた傷病者7名を時計回りに2周にわたってトリアージを実施。2周目では判定役と記載役を交代し、終了後にトリアージタッグの記載内容確認と手順の再確認を行いました。
トリアージでは短時間で必要な情報収集を行い、正確に記録をすることが大切です。今回の訓練での課題を踏まえ、今後もこのような訓練を重ねていくことで災害発生時の対応力を身につけていきます。

活動報告

最新の知見を地域へ！ 多職種スタッフが学会で活発に発表

2025年7月、高知市において「第28回日本臨床脳神経外科学会」が開催され、当院からも他職種のスタッフが研究成果の発表やシンポジウムに参加し活発な意見交換が行われました。会では、高齢化社会の大きな課題である脳卒中や認知症の予防・治療について議論され、特に「高齢者の自動車運転」や「地域での認知症医療」といった、地域の実情に即したテーマが深く検討されました。
学会で得た最新の知識を生かし、「予防から生活の質の向上」まで切れ目のない医療で、皆さまの健康を支えてまいります。

シンポジウム：地域で支える認知症医療 ～認知症診療新時代を迎えて～

テーマ) 認知症診療における脳外科医の役割
シンポジスト 溝渕 光(脳神経外科)

シンポジウム：高齢者の自動車運転

テーマ) 軽度認知障害を有する高齢運転者の臨床的考察
シンポジスト 沖田 学(福島孝徳記念脳神経センター ニューロリハビリテーション部門)

愛宕病院からの発表(一般演題 8演題)

- ・脳梗塞治療後に自動車運転外来を利用したことで運転再開が可能となった症例 …………… リハビリテーション部 佐藤 誠
- ・抗アミロイドβ抗体薬治療における医師事務作業補助者の関わり …………… 医師事務支援科 山中 友子
- ・体性感覚情報に基づく身体の制御課題により姿勢や重心制御能力が向上した右視床出血後の症例 …………… リハビリテーション部 羽方 裕二郎
- ・認知運動課題を行うことで障害物回避時の不安定性や足部接触が改善された左視床出血症例 …………… リハビリテーション部 渡辺 大晴
- ・聴神経腫瘍摘出術前後での静止立位時重心動揺の経時的変化：症例報告 …………… リハビリテーション部 岡本 尚樹
- ・ボツリヌス療法とリハビリテーションの併用療法にて歩容と …………… 福島孝徳記念脳神経センター
歩きやすさに改善を認めた左片麻痺症例 …………… ニューロリハビリテーション部門 田島 健太郎
- ・外来、急性期病棟でがん患者と接している看護師のSDMの実践状況 …………… 看護部 石田 純子
- ・当院における外来頭部CTアンギオ検査の概要 …………… 診療放射線技術科 土居 伸匡

二次骨折予防委員会

当院では2022年度より、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で委員会を設立し、骨粗鬆症に対する取り組みを行っています。本年度より新たに診療放射線技師がメンバーに加わり、さらなるチームの強化および質の高い治療の提供を目指しています。

自分の骨密度を知って骨折を予防しよう！

骨粗鬆症は、加齢などが原因で骨密度が低下して骨がもろくなり、骨折のリスクが高まる病気です。初期段階では自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに進行していることが少なくありません。日本では、推定1300万人以上の患者がいるとされており、特に閉経後の女性に多くみられます。
骨粗鬆症治療の第一歩は、まず自分の骨の状態を知ること。そのためには骨密度測定が重要です。当院ではDEXA法(Dual-Energy X-ray Absorptiometry)を用いた骨密度測定装置を導入しています。DEXA法とは、2種類の異なるエネルギーのX線を利用して測定する方法で、腰椎と大腿骨の骨密度を精密に測定することができます。検査は撮影台に仰向けに寝た状態でを行い、検査時間も5分程度と短時間です。自分の骨の状態を知り、正しい食生活や適度な運動、投薬治療などで骨密度を改善させ、骨折しにくい体を作っていくことが大切です。気になることがありましたら総合受付にてご相談ください。骨粗鬆症マネージャーがサポートします。

委員会メンバーの院外活動

【外部勉強会講師】

アステラス製薬主催勉強会：「当院におけるFLSの現状と課題」講師：看護部 藤岡

【日本骨粗鬆症学会への参加】

2025年9月12日～14日 幕張メッセで開催された第27回 日本骨粗鬆症学会に参加しました。最新の知見や骨粗鬆症に対するさまざまな取り組み事例など、多くの学びを得ることができました。学会で得た知見を、今後の骨粗鬆症に対する骨密度検査の充実や、治療についてのさらなる取り組みにつなげていきたいと思っています。



愛 LOVE クッキング

トースターで簡単

管理栄養士 岡林 身和



鮭のパン粉焼き

材料と作り方(2人分)

- 鮭切り身 2切れ
- 塩こしょう 少々
- パン粉 大さじ4
- 粉チーズ 小さじ1
- マヨネーズ 大さじ2
- パセリ(乾) 少々

- 1 鮭はキッチンペーパーで余分な水分をふきとり、塩こしょうをふっておく。
- 2 パン粉、粉チーズ、マヨネーズは混ぜ合わせる。
- 3 くっつかないアルミホイル(ない場合はアルミホイルに油を塗って使用してください。)に鮭を並べ、2で混ぜたものを上にする。
- 4 トースターで鮭が焼けるまで8～10分ほど焼く。焼きあがったらパセリをふりかけ、盛り付けて完成です。

鮭

生活習慣病の予防に役立つEPAやDHA、またビタミンも豊富です。カルシウムの吸収を高め、骨粗鬆症の予防や筋肉の機能を維持するビタミンD、口内炎や髪のトラブルに役立つビタミンB2、アレルギー症状の改善に効果のあるビタミンB6を含んでいます。



岡林 身和

パン粉が焦げそうなときはアルミホイルをかぶせて焼く。マヨネーズはオリーブオイルやマスタードに変えても美味しくできます。

ウイルス性感染症対策について

〈広報誌あたご2025秋号発行時〉

【面会について】

ウイルス性感染症対策のため、
現在入院患者さんとの面会に制限を設けています。

- ・面会時間：13:00～16:00
- ・患者さんお一人につき1日1回15分以内 2名まで
- ・面会頻度：週2回（月～日曜日）
- ・小学生以下、体温37.0℃以上、体調不良の方は面会をご遠慮ください。

次の方は、面会できません。

- ・5日以内に新型コロナウイルス感染者と接触した方
- ・10日以内に新型コロナウイルスに感染した方

※面会制限は状況により変わることがありますので、
お電話などでご確認ください。

【マスク着用について】

現在マスク着用は個人の判断ですが、
医療機関などでは引き続きマスクの着用が必要です。
院内には、重症化リスクの高い患者さんが多数いらっしゃいます。
ご自身や周囲の方を守るため、ご理解とご協力をお願いします。



あたごNEWS

当院はこのたび、高知県防犯協会より「特殊詐欺被害防止対策への理解と地域社会への貢献」に対して感謝状を授与されました。今後も職員一同、防犯意識の向上と啓発活動に努めてまいります。



上記に関するお問い合わせはこちらまで

TEL(代表) 088-823-3301



医療法人 新松田会

愛宕病院

〒780-0051 高知市愛宕町1丁目1番13号

TEL (代表) 088-823-3301 救急専用 088-822-0009

FAX 088-823-3306 (外来受付) Mail : info@atago-hp.or.jp

愛宕病院

検索

<http://atago-hp.or.jp>

診療科目・診療時間

内科	眼科
外科	皮膚科
美容外科	泌尿器科
整形外科	耳鼻咽喉科
脳神経外科	リハビリテーション科
婦人科	麻酔科
精神科	ER救急蘇生センター
心療内科	脳神経センター

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
13:30～17:00	○	○	○	○	○	—	—

※診療時間や曜日は診療科ごとに異なります。
あらかじめお電話などでご確認のうえご来院ください。
※愛宕病院ホームページにも掲載されています。

休診日：日曜日・祝日

※但し、急患は休診日・深夜も24時間診療します



編集後記

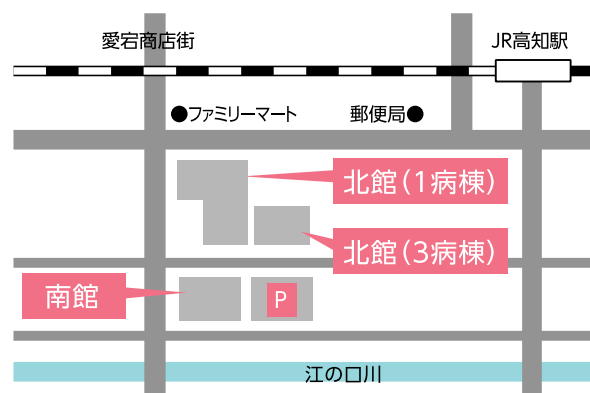
今年の夏も焼けるように暑く、そして長かった。スーパーなどの店頭で秋の味覚が並びはじめても、日中の熱気は一瞬で夏へと引き戻されてしまっていました。四季のなくなりつつある日本ですが、今年の秋もこのままスピードを上げて過ぎ去ってしまうのでしょうか。

今号の表紙は、9月中旬に遅めの夏休みを利用して訪れた北アルプス・立山での一枚です。熊の出没情報にいさざかびくびくしながらの山歩き。標高3000メートル近い登山道脇では高山植物・チングルマの葉がほんのり紅を帯びはじめていて、涼やかな風とともに季節の移ろいを感じることができました。



同じく立山で撮影。
色づきはじめてたナナカマドです。

編集担当：M.I.



受付は南館玄関をに入って左